

# アイランドキャンパス事業実施計画書

記入例

事業名	〇〇島の新たな着地型観光の方策について	
実施場所	(島名) 〇〇島 (市町村名) 〇〇市	
実施予定期間	(令和6年度) 令和6年〇月〇日(〇)～〇日(〇) (令和7年度) 令和7年〇月〇日(〇)～〇日(〇)	
大学等の名称	(大学・学部学科等の名称) 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 (専攻・主な研究テーマ) 〇〇学, 〇〇について (住所) 〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町7-4 (電話) 099-206-▲▲▲▲ (FAX) 099-206-〇●〇● (Eメール) ritou@pref.kagoshima.lg.jp (学部長名) 鹿児島 太郎	
参加予定人数等 (予定)	教授・講師等 ( 2 ) 名 代表教官名: 離島 太郎 学生等 ( 5 ) 名 計 ( 7 ) 名	
事業内容 (別紙での記載可)	概要	<p>新たな着地型観光として、〇〇島ゆかりの□□公の史跡をつなぐ広域観光ルートを開発し、誘客促進を図るために、□□公にまつわる伝統文化や現在の観光地・温泉地なども確認できる手作りの「〇〇島観光マップ」を作成するとともに、同マップを活用した新しい観光ルートを企画開発し、地元の観光振興に役立てる。</p> <p>今回の学外活動により、学生達が、島の歴史・文化等を地元住民の方々から学びことで、学内活動では得られない教育効果の向上を図る。</p>
	具体的な進め方	<p>(令和6年度) 観光マップの作成 〇月 〇日(〇) 市町村役場訪問 〇日(〇)～〇日(〇) 地域住民からの聞き取り調査 〇日(〇) 現地調査, 成果取りまとめ 〇日(〇) 住民への活動成果の報告, 意見交換会/帰路</p> <p>(令和7年度) 観光マップを活用した新しい観光ルートの企画開発 〇月 〇日(〇) 市町村役場訪問 〇日(〇)～〇日(〇) 現地調査 〇日(〇) 成果取りまとめ 〇日(〇) 住民への活動成果の報告, 意見交換会/帰路</p>
	専攻分野と事業内容との関係性	<p>〇〇学(〇〇についての研究)は、〇〇についての理解を深める学問(研究)であり、この知識(研究)は、観光コンテンツの造成やマーケティングに基づく効果的な観光地のプロモーションといったことに応用することができる。</p> <p>今回の事業では、〇〇島ゆかりの□□公の史跡等の伝統文化や現在の観光コンテンツの調査を行い、大学で日々研究している〇〇〇〇〇〇などの知識(手法)を活用して、島外に対して訴求力のある「〇〇島観光マップ」の作成や来訪者の目線に立った新しい観光ルートの企画開発を行うものであり、関係性があると言える。</p>
事業成果の地元への還元方法(報告書の提出及びワークショップ開催等)	<p>令和6年, 令和7年の事業実施期間の最終日に、地元住民への活動報告と意見交換会をワークショップ形式で開催するとともに、年度毎に報告書をまとめて、鹿児島県及び〇〇市町村へ提出する。</p> <p>また、「〇〇島観光マップ」を活用したリーフレットを作成し、地元住民及び役場に配布する。</p>	
これまでの離島における取組実績等(他県での実績も含む)	<p>平成〇〇年〇月〇〇日～〇〇日 〇〇県〇〇島(〇〇町, 〇〇町) 「〇〇島における特産品開発の取組について」の調査・報告</p>	